

# 第一号議案 平成30年度事業計画（案）

<目標>

農業へのIT・IoT導入等を通じた「生産性向上・経営力強化」や、付加価値ある「商品開発」と国内外への「販路拡大」に資する取組を進めることにより、生産性の高い経営を行う農業者・農業法人等の創出を目指しつつ、農業所得を増加させる。

## 1. 管理運営事業

### (1) 九州農業成長産業化連携協議会役員会・通常総会

- ・平成30年7月13日（金）
- ・平成29年度事業報告、平成30年度事業計画、役員選任等。

### (2) 企画運営委員会

- ・年度内2回程度開催予定。
- ・平成30年度事業の進捗状況報告・企画運営方針の検討、来年度事業計画の検討。

### (3) 共同事務局会議

- ・原則毎月開催。
- ・事業の進捗状況の確認、関係機関の連携方策等について検討等。

## 2. 主要事業

<「生産性向上・経営力強化」に向けた取組>

### (1) スマート農業の推進

#### ① スマート農業推進フォーラム（九州ブロック）

農業の競争力強化に向けた九州スマート農業時代の幕開けに向けて産業技術の蓄積・強みを活かし産農連携の橋渡しの場づくりや九州内外への情報発信を行う。

平成30年度は、ICTやロボット技術等のスマート農業製品を提供している民間企業と当該製品を実際に導入した農業者のペアで取組を紹介する等、スマート農業を後押しする。

#### ② 農業の未来と可能性を学ぶ人材育成講座2018

農業法人、農業者（後継者、新規就農者を含む）及び農業参入を検討中の企業等を対象に、収益確保の仕組みやマーケットインによる商品提供、6次産業化・IT活用による生産性向上等の先進事例を紹介する人材育成講座を開催する。

平成30年度は、「九州IoTコミュニティ」と連携して、IT企業とのマッチングを行うことにより、農業へのIT・IoT導入をより一層促進し、生産性向上を後押しする。また、輸出に必要な国際認証の理解促進にも取り組む。

### (2) 農業のビジネス化推進研修

農業経営者に、ビジネスとして成功するための農業経営について、企業経営の手法を取り入れた考え方を事例研究等を通して学んでもらうことを目的に中小企業大学校人吉校と連携して開催する。

### (3) IT部会

IT技術等の活用によるスマート農業を推進し、経営合理化、生産性向上、販売力強

化を図る。(詳細は、IT 部会の項を参照)

#### <付加価値ある「商品開発」に向けた取組>

##### (1) 農商工連携事業

農林漁業者と中小商工業者が、通常のビジネスの枠を超えて協力し、お互いの経営の強みを持ち寄って、売れる商品・サービスの開発・生産等を行うことで、両者の売上げや利益の増加を目指そうとする取り組み。

平成 29 年度に引き続き、「中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律」に基づく認定(九州経済産業局長認定)とふるさと名物応援事業補助金(農商工等連携事業)の執行を進める。

「6次産業化・農商工連携・地域資源活用フォーラム」については、平成 30 年度は「九州食の展示商談会」が開催されないことから、開催方法について検討する。

##### (2) 6次産業化促進事業

農山漁村の所得や雇用の増大を図るために農林水産物等の地域資源を活用した6次産業化の推進。

農林漁業者等と食品製造・流通事業者等がネットワークを構築して行う6次産業化等の取組を「食料産業・6次産業化交付金」により支援する。

各県、各県6次産業化サポート機関との連携を強化し、セミナー・シンポジウム等の充実・強化を図る。

#### <国内外への「販路拡大」に資する取組>

##### (1) 広域ビジネスマッチング交流会(「九州6次産業化・農商工連携食品商談会」)

九州全域における6次産業化・農商工連携促進のための販路拡大等を目的とした広域ビジネスマッチング交流会(個別商談会)を開催する。

##### (2) 農業の未来と可能性を学ぶ人材育成講座 2018【再掲】

##### (3) 輸出部会

輸出に関する意識向上と行動を促すことを目的とした事業を実施する。(詳細は、輸出部会の項を参照)

##### (4) 外食部会

生産者と外食事業者とのビジネスマッチング等を推進することにより、新たなビジネスモデルやプロジェクトを推進し、農業生産者の販路拡大、所得の向上を図る。(詳細は、外食部会の項を参照)

##### (5) 流通部会

消費者が求める商品提供(マーケットイン)、生産・加工・流通における生産性向上・高付加価値化等(農業バリューチェーン)による生産者所得の拡大及び販路(需要・消費)の拡大を図ることを目的に開催する。(詳細は、流通部会の項を参照)

#### <農業成長産業化に資する横断的取組>

##### (1) 表彰

本協議会の会員で、九州において農業の成長産業化を先導する取組を行っている農業

者・農業法人等を表彰する制度を新規に創設する。

## **(2) 農業の未来と可能性を学ぶ人材育成講座 2018【再掲】**

## **(3) 九州・ベトナム農業ビジネスミッション 2018**

人材不足に悩む農業経営者の外国人人材確保を後押しするため、海外での現地法人設立を促進すること、及び最先端の農業関連機器を日本の栽培方法と共にベトナムの農家に売り込むことを主な目的として開催する。

## **(4) 九州農業連携塾**

商工業者と農業者の経営連携、会員相互の定期的な交流、協議会外部との交流促進等を主な目的に年2回程度開催する。

## **(5) 連携提案実現に向けた支援**

### **① 会員からの連携提案の実現に向けた取組**

- ・協議会の4部会（輸出・外食・IT・流通）において、部会間連携促進のための活動を行う。
- ・各部会に共通する課題についての効果的・効率的な取組みを検討するため必要に応じて合同会議を開催する。

### **② 会員間の連携促進に向けた取組み**

- ・連携提案書及び商談会カレンダーの活用により、会員間の連携促進を図る。

### **③ 交流会等の企画・参画**

- ・関係団体等と連携し、活用可能なスキーム・事業の積極的な導入を図る。

## **3. 部会の取組**

### **(1) 輸出部会**

#### **(方針)**

- ・輸出に関する意識向上と行動を促すことを目的に下記を実施。

#### **① 海外からのバイヤー招聘商談会**

- ・海外バイヤー及び国内輸出企業を招聘しての商談会を開催する。  
(九州内で2回開催目標)

#### **② 輸出拡大に関する各種セミナー**

- ・輸出事業への新規参入事業者掘り起しのためのセミナー及び輸出拡大のためのスキルアップセミナー等を開催する。  
(九州内で2回開催目標)

#### **③ 販路拡大に関する取り組み**

- ・農林水産物・食品の海外展開を促進するため、地域商社を活用した輸出先（地域）の拡大および輸出品目・量の拡大を図る。

#### **④ 輸出実績の把握及び共有化**

- ・毎月公表される財務省貿易統計データを基に九州管内税関ベースの輸出実績を統計処理し、輸出部会委員間で共有化する。

### **(2) 外食部会**

#### **(方針)**

- ・生産者と外食事業者とのビジネスマッチング等を推進することにより、新たなビ

ジネスモデルやプロジェクトを推進し、農業生産者の販路拡大、所得の向上を図る。

**① 産地と外食事業者等との連携促進**

・業務用野菜で外食事業者等が連携している産地の事例を調査し、連携の魅力・効果等に係る情報の収集・整理・発信を行う。

**② ジビエの有効利用と販路拡大**

・鳥獣対策に取り組む農林漁業者とジビエの利用に取り組む外食事業者との連携を進め、ジビエの有効利用と販路拡大を図る。

**③ 生産者の6次化商品等の販売促進に向けたスキルアップセミナー等の開催**

・部会員等による各種研修会・セミナー等の企画及び積極的な参加による情報発信を行う。

**④ 会員等が主催する展示商談会への参加**

・会員の商品PR及び協議会への加入促進を図る。

**(3) IT部会**

**(方針)**

・IT技術等の活用によるスマート農業を推進し、経営合理化、生産性向上、販売力強化を図る。

**① ICTの活用、スマート農業の推進**

・農村現場の関心事項と企業や研究機関が有するICT等の技術の対応関係を整理し、農業者とIT事業者を結び付けることにより、生産性の向上、スマート農業に向けた取組を推進する。

**② 九州農政局「ICT等の活用促進に向けた情報交換会」との連携**

・九州農政局主催のスマート農業推進に向けた「ICT等の活用促進に向けた情報交換会」にIT部会から講師を派遣する。

**③ 先進IT技術（IoT、AI等含む）の情報共有と実態把握**

・先進技術の取組事例の収集と現地調査を行う。

**④ 部会員が主催するイベント等を活用した取組み**

・部会員と連携し、部会員が開催するセミナー等に参画する。

**(4) 流通部会**

**(方針)**

・流通部会の基本方針である「消費者が求める商品提供（マーケットイン）、生産・加工・流通における生産性向上・高付加価値化等（農業バリューチェーン）による生産者所得の拡大及び販路（需要・消費）の拡大を図ること」を踏まえた上で、東京オリンピック・パラリンピック2020やTPP11・日EU経済連携協定等の経済連携協定といった目前に迫っている関心事項をテーマに情報共有、意見交換および視察を実施する。

**(予定しているテーマ)**

**① 物流の効率化・鮮度保持技術の活用等、物流・流通網の最適化・コスト削減に向けた意見交換**

・物流効率化に取り組む専門家を招聘した意見交換会を実施する。

**② 生産地や流通現場等の視察**

- ・物流効率化やブランド戦略に取り組んでいる生産地や流通現場等を視察する。

**③ 2020年の東京オリンピック・パラリンピックを踏まえた農産物の販売強化のあり方及び調達状況に係る情報共有**

- ・オリパラの農産物・食品の調達基準に関する専門家等を招聘して、将来的な国内外への販路拡大を見据えた九州の農産物・食品の戦略について情報共有を行う。

**④ 経済連携協定を踏まえた農業分野における取組の検討**

- ・TPP11 や日 EU 経済連携協定等の国際的な貿易動向を踏まえた九州の農産物・食品の輸出拡大と流通の円滑化に係る戦略について情報共有を行う。